

新しい校舎で新学期です 成章小学校

校舎が老朽化し、屋内運動場は危険校舎に指定されていた成章小学校。二年度から移転改築工事が進められ、三月二十五日に完成しました。

成章小は十二所公民館の向い(中町)から旧国道(103号)沿いの大平地内に移り、校地面積は約三万平方メートルと旧校地の二倍ほどの広さになっています。

新校舎は鉄筋コンクリート三階建てで、西側の外壁には市内で初めてカラーのアートレリー

フが組み入れられています。また、市内小学校では四番目というオープンスペースも設けられ、明るい空間が広がっています。

屋内運動場は鉄骨造り平屋建て。床面積千二百三十一平方メートルは、ミニバスケットボールのコートが二面とれるほどの広さで、旧屋内運動場の約二・五倍の面積です。校舎とは渡り廊下で結ばれています。また、今年度は子供たちの念願だったプールを造ることになっています。プールは、二十五メートル十三メートル

のと、低学年用(十メートル七・五メートル)のもの二つが予定されています。

木造校舎から真新しい校舎への引っ越しは、三月二十一日と二十二日。子供たちと先生と、父兄も一緒に古い校舎から荷物を運び出しました。四月四日から新しい校舎で新学期が始まります。成章小学校の歴史に新しい一ページが加えられることになりました。「心豊かにたくましく」みんな元気に勉強し、遊んでください。



△成章小学校の歴史に新たな一ページが刻まれます
△古かったけど...、思い出がかけめぐる旧校舎。アリガトウ!



引っ越ししました!

釈迦内公民館



釈迦内公民館の移転改築工事がスタートしたのは昨年十月。昭和四十五年に建設されて以来二十余年を経過した公民館は、老朽化はもろんのこと、近年高まってきている生涯学習意欲を受け止めるには施設が狭いこと、そして拡張するには従来の敷地では不足なことなどから、建設地を実相寺の西側、上大留地内として改築工事を進め、三月三十一日に落成しました。

新しい公民館は、本館(木造平屋建て、床面積六百四十六平方

方メートル)と講堂(鉄骨造り平屋建て、床面積五百五十三平方メートル)からなり、建築面積は旧館の約二倍。本館には八十人ほどが入れる大会議室兼視聴覚室、畳敷きの研修室三室(合計約八十畳)のほか、郷土資料展示室なども設けられています。一方、講堂は天井が旧館のときよりグンと高くなり、バレーボールコートが一面、バドミントンなら二面とれるくらいの広さで、採光も十分。またステージには緞帳が張られたほか、トイレは身障者

用のものも設置されています。レンガ色と白色のコントラストが落ち着いた雰囲気を感じ出している新公民館。釈迦内出張所も館内に移転したほか、公民館の隣接地では三年度から「ふれあい公園」建設がスタートしています。新公民館とふれあい公園、地区の中心部に位置することからも、名実ともに釈迦内地区のシンボルになるでしょう。



きれいな/おつきい/新公民館